

国際ロータリー第2770地区

THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA MID-TOWN

Weekly Report

例会日 毎週火曜日 12:30~1:30
 例会場 山下工務店 大袋 GL2階
 事務局 〒343-0034 越谷市大竹686-3
 T E L 048-971-5320
 F A X 048-971-5370
 創立 平成2年5月22日

会長 山崎晶弘
 幹事 小池和義
 会報委員長 森紀二



第1058回 例会会報

- ・例会月日 平成24年7月17日(火)
- ・点鐘時間 12時30分
- ・例会場名 山下工務店 大袋 GL2階
- ・齊唱RCソング 「奉仕の理想」
- ・司会者名 太田洋寿 S.A.A.
- ・発行月日 平成24年7月24日(火)

次月・次週インフォメーション

- 7/24 通常例会
- 8/3 家族同伴納涼例会
- /7 通常例会

会長挨拶



山崎晶弘会長

皆さん、こんにちは。梅雨が明けたような陽気です。熱中症にはお気をつけください。そんな中、本日も例会にご出席いただきまして御礼申し上げます。

昨日は水辺のまちづくり館で「水辺のまち絵コンテスト」の表彰式がありました。小池幹事、菊地社会奉仕委員長と共に出席し、複数が協賛する中、公共的な立場にあるロータリークラブが筆頭で表彰させていただきましたことをご報告致します。

その日は午前中で仕事をあがり、表彰式終了後に父母のお墓参りをしました。高度経済成長期の核家族化の結果、人間関係の希薄化が社会の最低単位である家族にまで至りましたが、我が家は先祖代々を固守し、家族全員でお墓参りをした後は交互に両親の話をして故人を偲ぶことが慣例となっています。盂蘭盆会のとき僧侶が精霊棚の前で読経することを棚経というそうですが、一昨日はお坊さんに来ていただいてお棚経をあげていただき、その後は家族全員で僧侶と一緒に水菓子をいただきながら法話を伺いました。

私の父は誕生と引き換えのように生母を亡くしたため生母の実家で育てられ、向学心に燃えながらも旧制中学への進学を断念して就職。年給が明け晴れて独立し、我が山商の社名の元となっている山崎商店を設立しました。今自分があることは先人のお陰であるという思いを大切にしていかなければならないと思います。ロータリーにも結びつきますが、先輩方が脈々と続けてくださったクラブの灯を守り続けたいという思いがあります。

幹事報告

小池和義幹事

1. 第38回越谷市民まつり実行委員会より「第2回財政委員会開催の案内」がきています。
 日 時：7月23日(月) pm6:30~
 場 所：中央市民会館 特別室<山崎会長出席予定>

2. IM 実行委員会より「第1回 IM 実行委員会開催の案内」がきています。
 日 時：7月26日(木) pm6:00~
 場 所：サンオーツ <仲会員、大野会員出席予定>
 地区から<3~7>
3. 「2012~13年度 RI2770地区 地区大会記念チャリティゴルフ大会の案内」がきています。
 日 時：10月15日(月) *雨天決行
 場 所：大利根C.C
4. 「ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)パートIの案内」がきています。
 日 時：9月15日(土) am10:00~pm6:00
 場 所：埼玉会館
5. 「RI2770 地区ホームページバナー広告申し込みの案内」がきています。
 広告費用：年間 10,000円(1会員)
6. 東日本大震災復興支援チームから「記録資料提供のお願い」と今までの記録資料が送付されています。
7. 「2013年里斯ボン国際大会準備委員会の案内」がきています。
8. 会員手帳を作るに当たり今年度は血液型を記載することになりました。差し障りのない方はお申し出ください。

委員会報告

■ 親睦委員会

親睦旅行について<旅行先・参加人数の確認>

日 時：8月3日(金)

内 容：袋田の滝等の観光バス旅行

* 詳細は宮坂親睦委員長から案内があります。

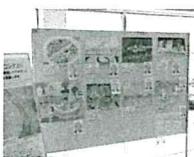
■ 社会奉仕委員会

菊地貴光社会奉仕委員長

6/30、7/14・15 の 3 日間、水辺のまちづくり館で「水辺のまち絵コンテスト」があり、16日に表彰式が行われました。シールによる投票の結果、入賞者には山崎会長から越谷中ロータリークラブ賞が贈られました。主催者側の報告によりますと、市内17の小学校から53人の子供たちが参加、約290人が絵に投票を行ったそうです。尚、今回は9つの賞があり、越谷中ロータリークラブの他に読売新聞、積水ハウス、山下工務店等が協賛しました。



水辺のまち絵コンテスト
表彰式の様子



■3 分間ロータリー情報

森 紀二広報委員長

「ロータリ一年度の由来」について

ロータリ一年度の最初の会計年度は第1回大会が終了した翌日、1910年8月18日に始まりました。翌年度も同様に国際大会の日程に合わせ8月21日開始となっています。さらに翌年の1912年8月、理事会が当時の国際ロータリークラブ連合会の会計監査を依頼した際、クラブ幹事と会計が十分な時間をもって大会に向かた財務報告を準備し、クラブ代議員の数を決定できるよう、会計年度の最終日は6月30日にするとの提案を会計士から受けました。執行委員会はこれに同意し、1913年4月の会合で、6月30日を会計年度最終日と定めました。この決定に伴い、クラブ会員数の報告と支払いに関する期日のほか、「ザ・ロータリアン」誌の巻番号システムもまた変更されました。ロータリーはその後1917年まで、7月または8月に年次大会を開催していましたが、1916年大会での代議員が夏場の暑さを考慮し、大会を6月に開催する決議案を採択しました。これにより、次のアトランタ大会は6月17~21日に開催されました。

■ロータリー財団部門セミナーの報告

大野 弘委員長

7/7(土) 彩の国すこやかプラザでロータリー財団部門セミナーが開催されましたのでご報告致します。基調講演は田口氏(盛岡北RC)による「東日本大震災に対する世界からの支援」、スライドを交えた報告と支援に対する各クラブへの感謝の言葉がありました。

各委員会からの報告 <ポリオプラス委員会> : 2億ドルチャレンジは2012年1月17日、2億260万ドルの寄付が集まり目標を達成したとの報告がありました。アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタンの4カ国で野生ポリオウ

イルスが発生しているものの徐々に終息にむかっているとのことです。しかしロータリークラブとしては今後も継続し、ポリオ・プラスとして30ドルの寄付が呼びかけられています。

<補助金委員会> : 補助金は年度始まりと同時に締め切られていますが、概略説明がありました。

<財団奨学・平和フェロー・学友委員会> : 今年度新地区補助金の派遣留学生とグローバル補助金派遣奨学生の紹介がありました。次年度奨学生も決まりつつあるということです。

<職業研修チーム(VTT)委員会> : 従来のGSEに代わってVTTが組織され、派遣されます。

<新地区補助金運営委員会> : 補助金対象の59クラブが確定しているとのこと。今年度は終了していますので次年度分の申請は早めの計画が必要です。(サッカー大会、だるま製作体験など新地区補助金で認められた事業を紹介)

<資金推進委員会> : 今年度の寄付額は会員1人当たり230ドル(年次寄付200ドル、ポリオプラス寄付30ドル)、恒久基金1クラブ当たりベネファクター1名が目標として掲げられています。ロータリーカードへについても皆さんにご協力いただきたいといったお話をありました。

■スマイル報告

佐々岡 修広報副委員長

- ・お暑うございます。皆さん、健康にご留意ください。 山崎晶弘
- ・本日もよろしくお願いします。 小池和義
- ・暑い熱い、燃えてますか? 今日もよろしくお願いします。 仲 文成

- ・今日も暑いですね。 菊地貴光

山下良雄、太田洋寿、武藤正雄、森 紀二、大野 弘
佐々岡 修 小計 10,000円

■出席報告

佐々岡 修委員

会員数	出免除	出席数	欠席数	MU	出席率
15名	1名	10名		2名	92.3%

卓話

熱中症について 大野 弘会員

労働局で作られた熱中症のパンフレットをお持ちしました。めまい、立ちくらみから始まり頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、その後意識障害、痙攣などの症状があり、場合によっては命に関わる場合もあります。過去に2度ほど仕事で熱中症の労災申請の書類を書いたことがあります。家庭ごみの収集に従事している方が仕事の途中で気が遠くなり、痙攣が始まつたためそのまま病院へ搬送。応急措置を受けて事無きを得たというケースがあります。知識や症状に対する自覚があれば素早い対応ができます。外仕事ばかりではなく、室内の作業でもこういった症状が見られることがあります。節電との関係もありますが、エアコンあるいは空調を適切に使うことで環境を整えることに加えて水分・塩分の補給も必要です。具体的な災害事例として書かれていますように、ビニールハウス内での仕事や工事現場、倉庫内での仕事に従事しているときに症状が出て死に至るような場合もあります。単独で作業している場合、倒れてもそのままになり非常に危険ですので注意していただく必要があります。室外、室内問わず十分な配慮が必要です。皆さんの事業所でも定期健康診断を実施されていると思いますが、そういったものも活用しながら事業主と従業員の十分な健康管理をしてください。事故が起きた場合は健康診断の実施状況を問われますので配慮してください。

